

NPO法人渋川広域ものづくり協議会×大同特殊鋼（株）×関東電化工業（株）の協働

【協働の概要】 国道17号中央分離帯のアナベル8,000株の手入れを実施



ものづくり協議会
篠田会長

- NPO法人渋川広域ものづくり協議会（以下、「ものづくり協議会」）は、国道17号、関越自動車道渋川伊香保インターチェンジ至近の中央分離帯において、清掃活動と花の手入れをボランティアで行っている。植えられているのは、渋川市の花・あじさいの一品種の、アナベル約8,000株である。
- 花の手入れは定期的に行っているが、市内の企業である大同特殊鋼（株）渋川工場と関東電化工業（株）渋川工場が月に2回、各社3～4人の社員を派遣し、ものづくり協議会の会員とともに活動している。
- 敷地は市の保証のもと、ものづくり協議会が国から借りている。作業の際は、周辺の企業や店舗がトイレや駐車場を貸し出すなど、多くの市民の協力を得て、活動を続けている。



最盛期のアナベル（6月）

NPO法人渋川広域ものづくり協議会

会長 篠田 徳寿

住所 渋川市北橋町八崎629-5



目的 「ものづくり、人づくり、地域づくり、環境づくり」のために役立つ事業を行い、地域及び住民の福祉、公益の増進に寄与する。

事業 花と緑による環境美化、地球温暖化防止活動

HP <http://monodukuri.gunmablog.net/>

大同特殊鋼株式会社 渋川工場

工場長 広瀬 尚史

住所 渋川市石原500



概要 数多くの特殊溶解設備、大型の鍛造機を保有する各種産業向け高級鋼、超合金の生産拠点
1937年操業開始、1964年の関東製鋼(株)と大同製鋼(株)の合併により現在の渋川工場となる。

HP <https://www.daido.co.jp/pioneer/index.html>

関東電化工業株式会社 渋川工場

工場長 米村 泰輔

住所 渋川市渋川1497



概要 1939年に操業を開始した国内の主力工場
現在は、特殊ガス製品および鉄系製品を製造
工場敷地内には、新製品の開発拠点となる
総合開発センター等の開発部門も有する。

HP <https://www.kantodenka.co.jp/>

■経緯：ものづくり協議会は、H11年より清掃活動を開始した。現在アナベルが植えられている中央分離帯は、ゴミが多く捨てられていたが、H15年花を植えたところ、ゴミが捨てられにくくなった。活動には多くの市民が賛同し、大同特殊鋼（株）と関東電化工業（株）も、会員の紹介により、参加することとなった。

■協働のメリット、相乗効果

- **ものづくり協議会**：企業や多くの市民が活動に参加することで、見る人も「街をきれいにしたい。」という気持ちになり、まちづくりや環境美化の啓発につながる。企業の若い人と一緒に活動できるのも嬉しい。
- **大同特殊鋼（株）、関東電化工業（株）**：地元の企業として地域の活動に貢献することができる。社員も積極的に参加しており、花の手入れを通じて、環境意識の向上につながっていると感じる。



除草の様子（9月）



アナベル刈り取りの様子（11月）